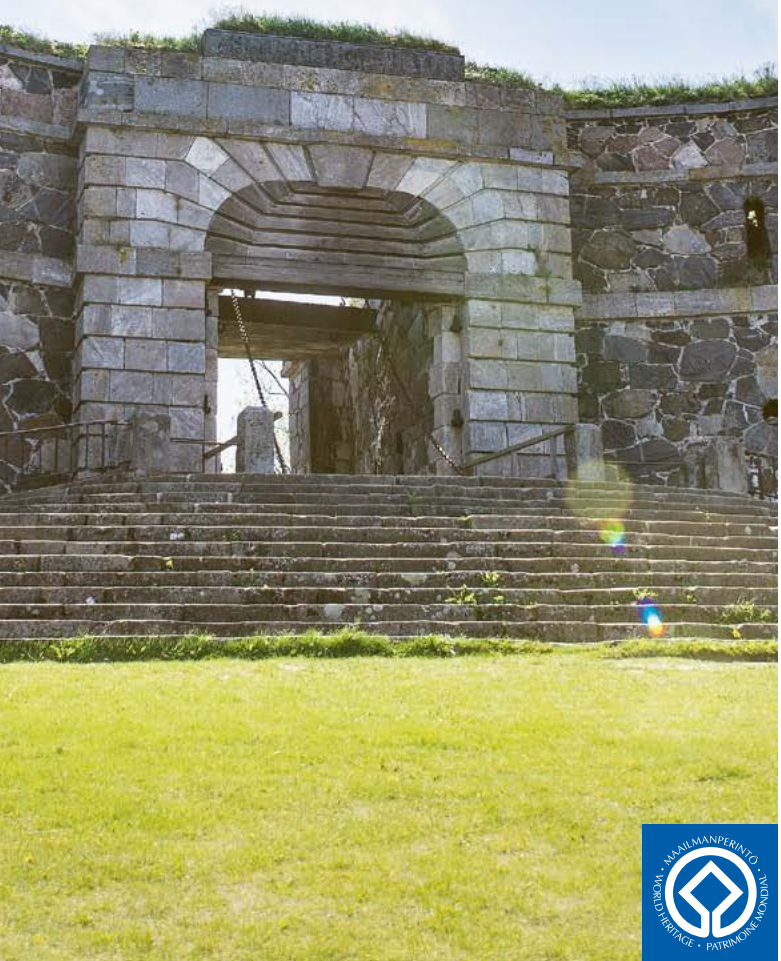
SUOMENLINNA
SVEABORG

観光地図
付き

海上要塞
スオメンリンナ



主な見どころ

スオメンリンナ教会

8 この教会は、1854 年に駐屯部隊のための正教会の教会として建設され、フィンランド独立後の1920年代に福音ルター派の教会となりました。教会の塔では、現在でも航空・海上交通用の灯台が稼働しています。

コートヤード

29 要塞を築いたアウグスティン・エーレンスヴァルド(Augustin Ehrensvärd) が設計したコートヤードは、1760年代に要塞の中央広場として完成しました。クリミア戦争中の1855年、広場は爆撃によって大きな被害を受けました。コートヤードにはエーレンスヴァルドの墓があります。

乾ドック

24 スオメンリンナのドック（船渠）は、現在も使用されている乾ドックの中では世界最古のものの一つです。1760年代には、造船技師 F. H. af チャップマン(F. H. af Chapman) の指揮のもと、ここで群島船団の船が建造されました。現在、ドックは古い木造船の修復に使用されています。

クスターンミエッカ

42 クスターンミエッカでは、当初からの星形要塞と、19世紀後半にロシアによって構築された、土塁や大砲を備えた海上防衛線を見ることができます。

キングスゲート

44 堂々としたキングスゲートは、スオメンリンナのシンボルです。キングスゲートは、要塞の式典用の門として1753から1754年にかけて建設されました。門は、1752年に要塞の建設者スウェーデン王アドルフ・フレドリク(Adolf Fredrik)が建設作業の視察に訪れた際、王を乗せた船が錨を下ろした場所に建設されました。

© CITY SURVEY DIVISION, HELSINKI 2015 | DESIGN © HAHMO

スオメンリンナへようこそ

1748年にヘルシンキ前方の島に築かれたスオメンリンナ海上要塞は文化的遺産です。スオメンリンナの建設は、フィンランドがスウェーデンの一部だった18世紀に始まりました。西方向に向けられたクスターンミエッカの大砲は、19世紀のロシア統治時代を物語っています。

1991年、スオメンリンナは次世代に残すべき当時のヨーロッパの軍事建造物の一つとして、ユネスコ世界遺産に登録されました。スオメンリンナは、起伏のある地形を持つ複数の島に建設された、変則的な形状の星形要塞です。スウェーデン、ロシア、フィンランドという3つの国の国防におけるスオメンリンナの歴史的意義が、この要塞ならではの特徴です。

現代に生きる海上要塞

スオメンリンナはフィンランドで最も人気の高い観光地の一つであるのはもちろん、800人のヘルシンキ市民が住む活気ある居住区でもあります。教育文化省が管轄するスオメンリンナ管理機関は、要塞の保存、維持、開発、観光案内に責任を負っています。要塞の設備やかつての駐屯部隊の建物は修復され、住宅、オフィス、会議・パーティ会場、レストラン、ミュージアムとなっています。

かつてはこの要塞を通じて、フィンランドにさまざまなヨーロッパ文化がもたらされてきました。今日、スオメンリンナでは、毎年水準の高い文化イベントが多数開催されているほか、要塞で活動する多くの工芸作家や木造帆船を修復する職人たちによって、工芸の伝統が維持されています。

歴史

1748 年　スウェーデン統治下のフィンランドで、アウグスティン・エーレンスヴァルドの指揮により海上要塞の建設が始まる。

1750 年　スウェーデン王フレドリク1世、要塞をスヴェアボリ(Sveaborg)と命名する。

1788 年　ロシア・スウェーデン戦争で要塞が海軍基地として利用される。

1808 年　フィンランド戦争。要塞はロシア軍に引き渡され、その後 110 年にわたりロシアの海軍基地となる。

1809 年　フィンランド、ロシア帝国の自治領となる。

1855 年　クリミア戦争。英仏艦隊が要塞を爆撃し、多大な損傷を被る。

1918 年　フィンランド内戦。要塞に捕虜キャンプが設置される。要塞はフィンランド領となり、スオメンリンナと名づけられる。

1939 年　第二次世界大戦開戦。要塞は砲兵基地、対空防衛基地、潜水艦基地となる。

1973 年　フィンランド駐屯部隊が要塞島から撤退。スオメンリンナは教育文化省の管轄となる。

1991 年　要塞が軍事施設のユニークなモニュメントとしてユネスコ世界遺産に登録される。

ビジターセンター

2 フェリー乗り場そばのビジターセンターは通年で営業しています。ビジターセンターのスタッフが、スオメンリンナのサービスやイベントに関する最新情報をご案内します。また、ビジターセンターに併設されている無料の導入展示では、要塞を訪れる際に役立つ背景情報をご紹介しています。ぜひご覧ください。

電話 +358 29 533 8410
www.suomenlinna.fi

営業時間
- 5月2日〜9月30日　10時〜18時
- 10月1日〜4月30日　10時〜16時

スオメンリンナの歩き方

ブルールート

スオメンリンナでの移動は徒歩となります。要塞には、最も重要な見どころを通るメインルートが南北に伸びています。メインルートは青い標識で示されており、地図上では青線で表示されています。
メインルートとほぼ並行して、お身体の不自由な方や車いす・ベビーカーをご利用の方のためのよりアクセスしやすいルートもあります。このルートはバリアフリーではありませんが、ブルールートにある急な斜面や起伏の多い道の一部を避けることができます。車いす用ルートマップは、ビジターセンターまたは www.suomenlinna.fi にあります。

歩行中のご注意

要塞、壁、盛り土などの構造物には、数キロにわたって柵やフェンスがありません。要塞では、自己責任において慎重に行動してください。
お子様が一人で歩き回ったり、壁に上ったりすることのないようご注意ください。意外な場所にも転落などの危険が潜んでいる場合があります。夏の茂みや冬の雪で、断崖が見えなくなっていることもあります。通行する船によって強い水流が発生しますので、海岸を歩く際は海上交通にご注意ください。冬には滑りやすくなるため、歩行には十分ご注意ください。

ガイド付きウォーキングツアー

スオメンリンナの多彩な歴史に触れるにはガイド付き要塞ツアーが最適です。ツアーはスオメンリンナセンター 18 からスタートします。ツアーの所要時間は約1時間で、スシサーリやクスターンミエッカ周辺を歩きます。ツアーの詳しい日時は、ビジターセンターまたは www.suomenlinna.fi でご確認ください。

ガイド付きツアーは、エーレンスヴァルド協会 (www.suomenlinnatours.com) が開催します。スオメンリンナでのガイドには許可が必要となり、公認ガイドはエーレンスヴァルド協会のガイドのみとなります。

夏のツアー

6月から8月までのガイド付きウォーキングツアーは、フィンランド語、スウェーデン語、英語、ロシア語で毎日開催いたします。

その他のシーズン

毎週末、英語とロシア語のガイド付きウォーキングツアーを開催いたします。

プライベートツアー

ご予約により、年間を通じてさまざまな言語のガイド付きツアーがご利用いただけます。

モバイル版ルート案内

スオメンリンナは、無料のモバイル版ルート案内でもご覧いただけます。さまざまなテーマ別ルートのダウンロード方法は、app.suomenlinna.fi でご案内しています。スマートフォンにダウンロードできる無料アプリを使えば、ルートや地図をあらかじめ保存しておくことができます。ビジターセンターでは、ルートに関する追加情報のほか、無料のワイヤレスインターネット接続もご利用いただけます。

ミュージアム

スオメンリンナでは、6つのミュージアムの展示をお楽しみいただけます。ミュージアムは要塞に点在しており、チケットは各ミュージアムでご購入ください。夏のシーズン中は、スオメンリンナの全ミュージアムに入場できる共通券もお求めいただけます（6月1日から8月31日の夏期シーズン中有効）。

● **通年オープン**

○ **夏期・イベント時オープン**

スオメンリンナ博物館 (SUOMENLINNA-MUSEO)

18 要塞のメインミュージアムでは、建設段階から現在にいたるまでのスオメンリンナの物語をご紹介しています。館内では、30分おきに要塞の歴史に関する短編映画を上映しています。上映言語はフィンランド語、スウェーデン語、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、日本語、中国語、スペイン語 の9か国語、上映時間は25分です。

潜水艦ヴェシッコ (SUKELLUSVENE VESIKKO)

37 ヴェシッコ (Vesikko) は、1930年代にフィンランドで建造され、第二次世界大戦中に活躍した潜水艦です。復元された艦内では、潜水艦の乗組員たちの窮屈な労働環境や当時の潜水艦技術を知ることができます。

軍事博物館マネーシ (SOTAMUSEON MANEESI)

16 マネーシの展示では、前世紀から現代までの平時、戦時におけるフィンランド軍隊とその兵士たちの歴史を紹介しています。

スオメンリンナおもちゃ博物館 (SUOMENLINNAN LELUMUSEO)

15 おもちゃ博物館のコレクションには、19世紀初めから1960年代までの数千点もの古いおもちゃがあります。また、併設するカフェにもぜひお立ち寄りください。

エーレンスヴァルド博物館 (EHRENSVÄRD-MUSEO)

30 かつて要塞司令官の公邸だったこの博物館では、スウェーデン時代の要塞をご紹介しています。この建物に最初に住んだのは、要塞を建設したアウグスティン・エーレンスヴァルドでした。

税関博物館 (TULLIMUSEO)

28 かつての刑務所の建物にある博物館では、フィンランドでの通関手続きや密輸の歴史を展示しています。

レストラン・カフェ

● 通年オープン

○ 夏期・イベント時オープン

レストラン・スオメンリンナ・ブルワリー (RAVINTOLA SUOMENLINNAN PANIMO)

2 この高級レストラン兼ブルワリー、そして気持ちのよい夏のテラスは、ロシア統治時代に建設された、フェリー乗り場にほど近いランタカサルミの貯蔵庫の中にあります。ブルワリーでは、自家製地ビールをぜひお試しください。

ヴィアポリ・デリ&カフェ (VIAPORIN DELI & CAFÉ)

2 フェリー乗り場近くのランタカサルミにあるヴィアポリ・デリ&カフェでは、サラダ、サンドイッチ、ケーキ、アイスクリーム、スペシャルティコーヒーをご用意しています。メニューは、店内かテイクアウトでお召し上がりいただけます。

クラブレストラン・クルビ20 (KERHORAVINTOLA KLUBI 20)

6 1926年から同じ建物で営業しているこのこのレストランは、古いミリタリークラブの雰囲気でいっぱいです。この伝統あるレストランは、スオメンリンナに住む人々の行きつけの店として人気があります。

カフェ・ヴァニッレ (CAFÉ VANILLE)

7 このアットホームなカフェは、メインルート沿いにあるロシア人商業地区の木造の建物にあり、ペストリー、日替わりスープ、スペシャルティコーヒー、お飲物をご用意しています。

ヤーケッラリ (JÄÄKELLARI)

14 この建物は、1898年に士官の家庭の食料貯蔵庫として建設されました。カフェではライトランチのほか、スオメンリンナのアートや文化プログラムをご提供しています。

おもちゃ博物館カフェ・サモワールバー (LELUMUSEON CAFÉ SAMOVARBAR)

15 この雰囲気あるカフェテラスは、美味しい自家製ペストリーで有名です。可愛らしいお庭のテラスで、幅広い品揃えのお茶やスペシャルティコーヒー類をお楽しみください。

スオメンリンナセンター・カフェ

18 スオメンリンナセンターのカフェは、センターの営業時間中、通年で営業しています。

カフェバー・ヴァリモ (CAFÉ BAR VALIMO)

20 このレストランはドック区域内にあり、スープ、パスタ、サラダをご用意しています。明るい陽射しのテラスからは、マリーナの様子を一望できます。

レストランカフェ・チャップマン (RAVINTOLA CAFÉ CHAPMAN)

27 トゥキストラハティ (Tykistölahti) の中央に位置するカフェ・チャップマンは、年間を通じてランチをご提供しているほか、夏期はディナーのアラカルトメニューもご用意しています。

カフェ・ピペル (KAHVILA PIPER)

38 このカフェは歴史ある公園の中にあり、スープ、ペストリー、お飲物をご用意しています。夏のカフェの岩がちなテラスからは、素晴らしい海の景観が一望できます。

レストラン・ヴァルハラ (RAVINTOLA WALHALLA)

45 スオメンリンナの南端に位置するヴァルハラは1952年に開業し、ヘルシンキオリンピックのレセプション会場となりました。夜のレストランはグルメなお食事で有名です。レストラン・ヴァルハラのサンテラスからは、素晴らしい海の景観が広がります。

ピッツェリア・ニコライ (PIZZERIA NIKOLAI)

45 レストラン・ヴァルハラに併設されたピッツェリアでは、日当たりのよいテラスや、迷路のような要塞の壁の中でお食事を楽しめます。

ショッピング

ヤーケッラリ・アートショップ (JÄÄKELLARIN TAIDEMYYMÄLÄ)

14 地元のアートや手工芸品、グラフィック、書籍の販売のほか、さまざまな企画展を開催しています。

おもちゃ博物館ショップ

15 ショップでは、本物のシュタイフ社・ハーマン社のテディベアやケイト・クルーゼ社の人形、その他のギフトアイテムを販売しています。

スオメンリンナセンター・ショップ

18 スオメンリンナセンター・ショップでは、お土産、ポストカード、本、ギフトなどを販売しています。

ヴィアポリ・アート&クラフトショップB34 (VIAPORIN TAIDEKÄSITYÖLÄISTEN KAUPPA B34)

32 スオメンリンナで制作された、質の高いアート・工芸品を販売しています。

ミュージアムショップ

32 スオメンリンナをテーマとしたお土産、ポストカード、ポスター、書籍、衣服などをご用意しています。

アート

ギャラリー・ランタカサルミ (GALLERIA RANTAKASARMI)

2 このヘルシンキ芸術家協会のギャラリーでは、現代美術の企画展を開催しています。

HIAP ギャラリー・アウグスタ (HIAP GALLERIA AUGUSTA)

33 ヘルシンキ・アーティスト・イン・レジデンス・プログラム (HIAP) が運営する、美術展・文化イベントスペースです。

ケラミックスタジオ・ポット・ヴィアポリ (KERAMIIKKATYÖ-HUONE POT VIAPORI)

34 スオメンリンナで制作された陶芸品を販売しています。

ガラススタジオ・ヒュッティ (LASISTUDIO HYTTI)

35 スオメンリンナを拠点とするガラス作家のアトリエです。

茶室　徳有庵

35 茶室では茶道の練習のほか、事前のお申込みにより日本式の茶会が開かれています。

発行元:SUOMENLINNA の政府機関
デザイン:HAHMO 写真:DORIT SALUTSKIJ, ANNA HUOVINEN および ESKO JÄMSÄ
印刷元: ERWEKO, HELSINKI 2015
発行者は、発行後のサービスに対する変更に責任を負いません。

PEFC Certified
This product is from sustainably managed forests, recycled and controlled sources
www.pefc.org
PEFC
PE FC-102-31-120
NORDIC ENVIRONMENTAL LABEL
Printed matter
4041 0032

その他のサービス

食料品店

4 観光客、住民にサービスを提供している食料品店。毎日営業しています。

ホステル・スオメンリンナ

5 ホステル・スオメンリンナは古い学校の校舎で通年営業しており、2〜3人部屋と6〜10人部屋に40のベッドがあります。

スオメンリンナ教会

8 結婚式向けの教会として人気があるこの教会では、毎年多くのイベントやコンサートも行われています。

スオメンリンナ図書館

11 図書館では展覧会やイベントも開催しています。無料インターネット接続あり。

クントマネーシ (KUNTOMANEESI)

17 サウナを併設するジムは多目的に利用でき、従業員レクリエーションやスポーツイベント、講座の開催に最適です。

マリーナ (VIERASSATAMA)

20 マリーナはカフェバー・ヴァリモ(Valimo)の隣にあり、自家用船舶でお越しの方向けに40隻のビジターバース、サウナ、シャワー・洗濯設備をご用意しています。

ピクニックシェルター

41 夏の間、誰でも自由にお弁当などを広げられる60席のピクニックシェルターで、クスターンミエッカにあります。

● **通年オープン**

○ **夏期・イベント時オープン**

サービスや営業時間についての詳しい情報は www.suomenlinna.fi をご覧ください。

交通機関

スオメンリンナへのアクセスは船となります。所要時間は15〜20分です。フェリーは通年、水上バスは5月〜9月のみ運航しています。

フェリー

1 フェリーは、マーケット広場東端の大統領官邸向かいから出発します。復路のフェリーは、イソ・ムスタサーリ島 (Iso Mustasaari) のメイン乗り場から出発します。フェリーはヘルシンキ市内交通の一部で、HSL（ヘルシンキ地域交通局）の全チケットが使用できます。フェリーのチケットは、乗船前にフェリー乗り場の自動販売機でお求めください。夏季はマーケット広場の窓口でもチケットを販売しています。

JTラインの水上バス

19 43 46 水上バスはマーケット広場の遊覧船乗り場から発着します。復路の水上バスは、スオメンリンナセンター乗り場から出発し、キングズゲートキングスゲート乗り場に止まります。一部の便はロンナ島にも止まります。水上バスのチケットは、マーケット広場のチケット売り場か水上バスでお求めください。HSLのチケットは使用できません。